

# 普通期米 栽培管理情報

## 1. 生育状況

本年の普通期米については、5月11日に梅雨入り（平年6月5日）し、7月13日（平年7月19日）に梅雨明けし、田植えは順調に推移しましたが、梅雨からの湯水により、一部生育障害が発生していますが、生育は概ね良好で茎数も確保できています。

今後は、出穂時期～成熟期を迎えるため、適切な管理を徹底しましょう。

病害虫については、日照りいもち病発生が予想されます。またカメムシの多発に注意してください。

## 2. 水管理

出穂7日前（オオバラの時期）から出穂7日後（穂揃い）までは可能な限り水を切らないよう管理を行う。

出穂後は、間断灌水を実施し、水に余裕のある場合は、高温障害防止の為、夜間に水の掛け流しを行い、地温を下げ品質向上に努める。間断灌水の際、乾かしすぎ（白乾状態）に注意し常に土が湿っている状態を維持すること。

また台風の接近等強風が予想される場合は、水分の蒸散を防ぐため、出来る限り深水を行う。

充実向上の為、収穫一週間前の走り水を必ず行いましょう！

## 3. 病害虫

いもち病	<p>現在、下葉に病斑が在る場合は、発生が懸念されるので注意が必要。</p> <p>使用薬剤 <b>ワイドナーエース粉剤</b> 3～4kg/10a または、<b>ノンプラスフロアブル</b> 1,000倍</p>
紋枯病	<p>昨年発生した圃場は発生が予想される。また、<u>高温で発生を助長するため注意！！</u></p> <p>使用薬剤 <b>バリダシン液剤</b> 1,000倍</p>
カメムシ	<p>本年は平年より多く発生しており、必ず防除してください。</p> <p>①<u>稲の出穂前に畦畔の草刈り</u>を行う。<u>その際、雑草の穂が出穂する前に草刈り</u>を行うことが重要。 ②散布適期は<u>穂がくるぶく頃</u></p> <p>使用薬剤 <b>キラップ粉剤</b> 3～4kg/反または <b>キラップフロアブル</b> 1000倍 100L/反</p>

※農薬散布の際は、周辺作物等に飛散がないよう十分注意してください！！

※粒剤体系を使用する場合は水を溜め、防除適期の3日程前に施用して下さい。